建築研究所ニュース

令和８年８月２８日

第３回シンポジウム「ここちよさを伝える新しいものさしを考えよう」の開催
～室内環境の良さを伝える指標作成に向けた意見交換会～

建築研究所環境研究グループは、住宅・小規模非住宅建築物の室内環境を分かりやすく評価する新たな指標の検討を目的とした第３回シンポジウム「ここちよさを伝える新しいものさしを考えよう」をオンラインにて開催します。

令和７年４月より省エネ基準適合が全面義務化され、エネルギー性能に関する指標として、一次エネルギー消費量やBEI、外皮性能としてはU_A値やη_A値、表示制度としてはZEHやBELSなど、様々な性能指標が整備されてきました。一方、温熱環境、光・視環境といった室内環境の良さや、土地や相隣条件が与える影響については、依然として住まい手にとって分かりやすい評価軸が不足しています。

本シンポジウムでは、室内環境の研究や住宅設計の第一線で活躍する専門家を招き、今、現場で求められている「ここちよさの指標」とは何か、良質な室内環境をどのように分かりやすく伝えるかについて、講演およびパネルディスカッションを通じて議論を深めます。

皆様の考える「ここちよさの指標」について、ぜひご意見をお寄せください。

１．開催の背景

当研究所では令和７年度より、研究課題「相隣環境を考慮した良質な室内環境の設計に資する評価指標と計測手法の開発（令和７～９年度、研究代表：上席研究員　三浦尚志)」を開始し、住宅・小規模非住宅建築物における室内環境の良さを生活者が理解しやすい形で示す評価指標の構築を目指しています。本シンポジウムはその第一歩として、専門家・実務者・研究者が横断的に意見交換し、「誰もが使える・分かる室内環境の新しいものさし」の検討を進める場として開催します。

２．開催概要

日　時　：令和８年 10 月１日（木）17 時 00 分～19 時 00 分
　　（16 時 50 分からウェビナー入室開始予定）
開催方法：オンライン開催（Zoom ウェビナー）
参加費　：無料
主　催　：国立研究開発法人 建築研究所 環境研究グループ
申込方法：９月上旬に、下記ウェブページに申込情報を掲載します。
　　事前申込者には、当日の録画を期間限定で配信する予定です。

「ここちよさを伝える新しいものさし」ウェブページ
https://www.kenken.go.jp/japanese/research/env/R7monosashi/monosashi.html

３．プログラム

17:00～17:10 開会・趣旨説明　三浦尚志（国立研究開発法人 建築研究所 上席研究員）
「本シンポジウム開催の狙いと参加者への室内環境指標に対するご意見のお願い」

17:10～17:30 **吉澤望氏（東京理科大学 創域理工学部 建築学科 教授）**
「窓の価値について－光・視環境の指標の考え方－」
国内外で窓の価値を評価する新たな基準やガイドラインの検討が進んでいる。本講演では、2026年7月刊行の「AIJES L0001-2026 屋内光環境・視環境に関する窓・開口部の設計・維持管理規準・同解説」の概要を紹介するとともに、その基盤となる窓の価値の評価構造や、眺望に着目した新しい評価方法の考え方について解説する。

17:30～17:50 **山口秀樹氏（国土技術政策総合研究所 建築研究部 設備基準研究室 室長）**
「光・視環境の評価・設計支援ツールの現在地とこれから」
光・視環境の評価・設計支援に利用できるツールは大きく進展しています。本講演では、Grasshopper等を用いた評価ツールの現状と限界を紹介するとともに、AIによる開発環境の変化や、実測との連携を含めた今後の可能性について考えます。

17:50～18:10 **谷口景一朗氏（東京大学大学院工学系研究科 建築学専攻 特任准教授）**
「シミュレーションを活用した住宅の光・視環境設計事例」
戸建住宅を対象に、設計時のシミュレーション活用事例を解説する。特に都内・狭小敷地特有の周辺建物が密集している条件下において、主に光・視環境シミュレーションから敷地の持つポテンシャルを発見し、窓がつくり出すここちよさを再評価した設計手法について紹介する。

18:10～18:55 パネルディスカッション
吉澤望氏・山口秀樹氏・谷口景一朗氏
進行：三木保弘（国立研究開発法人 建築研究所 環境研究グループ長）

18:55～19:00 連絡事項・閉会

４．今後の展開

本研究課題では、今年度も引き続きシンポジウムの開催を予定しています。本シンポジウムで寄せられたご意見は、今後の研究及び指標の具体化に向けた重要な参考情報として活用します。

【お問い合わせ先】
国立研究開発法人 建築研究所
（内容について）
所属　　環境研究グループ
氏名　　三浦尚志・熊倉永子
E-mail info-monosashi@kenken.go.jp

（建研公式Xについて）
新着情報や研究等の取り組みに関する情報を発信しております。ご興味がありましたら、フォローお願いいたします。
https://x.com/kenken_BRI